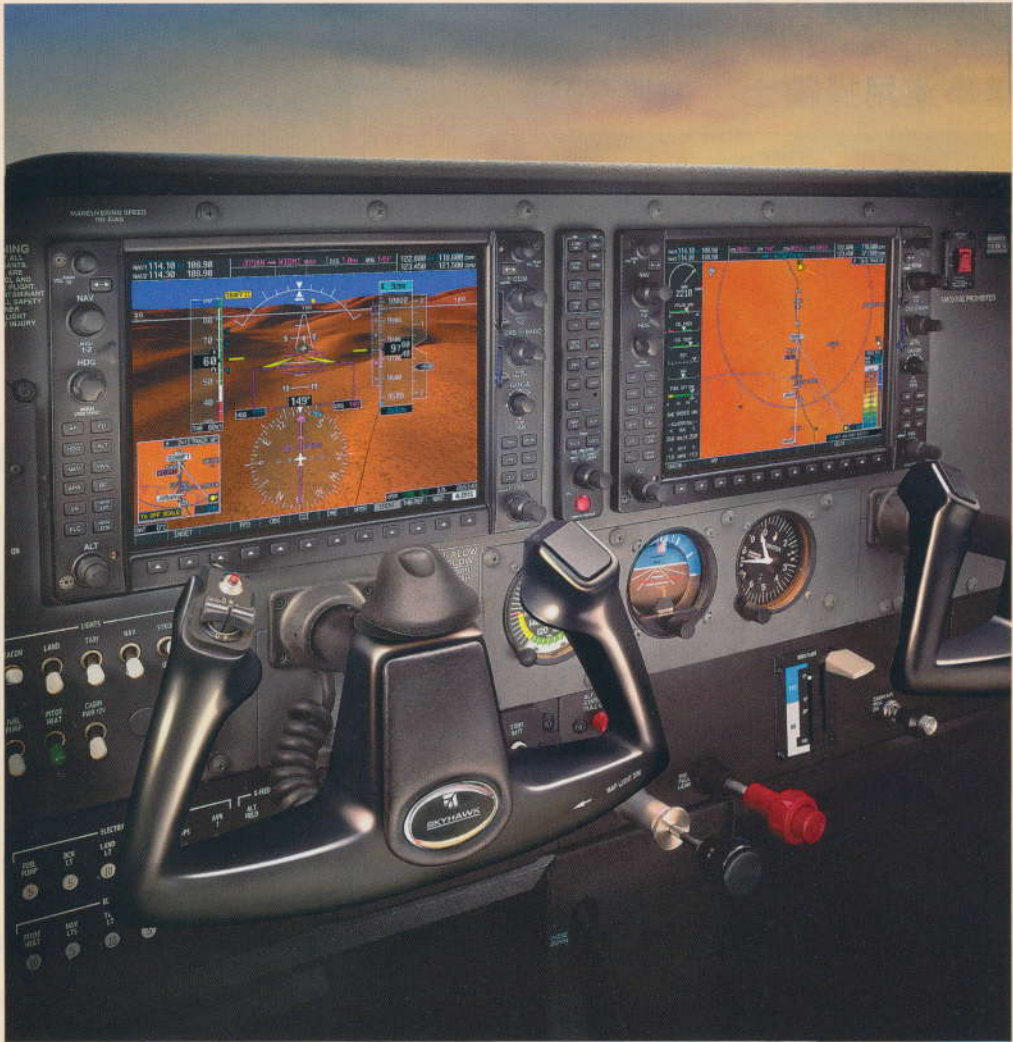


WING NEWS



Honda **FLYING CLUB**
Honda **FLYING SCHOOL**

216

2009
SEP.



Faint, illegible text is visible in the lower right quadrant of the page, possibly bleed-through from the reverse side or a watermark.

○実地試験合格

●事業用操縦士



No.5787 豊原 美由起 様
平成21年 5月1日 JA3938

華奢な体と度胸の良さのミスマッチが印象的でした。趣味が高じてプロを目指すことになり、3月の試験では不運が重なり惜敗しましたが、5月の再試験では同じ試験官というプレッシャーを跳ね除けてリベンジを果し、優秀な成績で合格されました。

それだけでなく、知る人ぞ知る多忙な中での受験には頭の下がる思いでしたが、引き続き計器飛行証明の取得を目指されること、頑張ってください。

合格おめでとうございます。

渋谷教官

●計器飛行証明



No.8109 柴田 英明 様
平成21年 8月17日 JA3935

計器飛行証明ライセンス取得おめでとうございます。

クラブ主催の北海道ナビで一緒にさせていただいてから訓練を始められて約2年間、楽しく険しい道のり本当にお疲れ様でした。

柴田さんの訓練に対する情熱と向上心が今日の結果に結びついたと思います。

実地試験におきましても川島試験官からお褒めの言葉を頂けた様に、日頃からの安全面に対する柴田さんの考え方は私たち教官も見習うべきところがありました。

これからも色々な天気の中を飛行されていくと思いますが、柴田さん自身の安全ポリシーを大切に安全運航に努めて楽しく飛行してください。

足立教官

乗員養成課程訓練生の合格実績もご紹介致します。

●事業用操縦士



野原 秀功 様

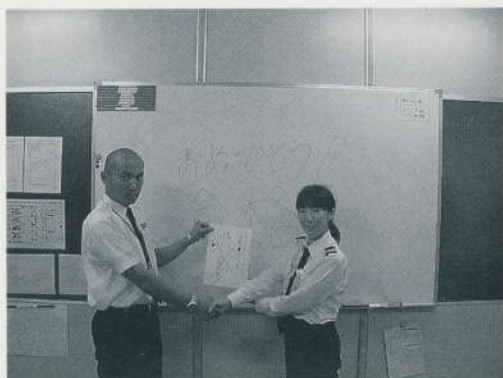
平成21年 5月20日 JA3934

合格おめでとうございます。

お仕事を行いながらの訓練は大変でしたね。
現在は、計器飛行証明取得の為に厳しい訓練に臨んでいると思いますが次回も是非、一度での合格を目指してください。

大澤教官

●事業用操縦士



下村 恵子 様

平成21年 8月3日 JA3934

合格おめでとうございます。

天候不良などで試験が分割+延び延びになってしまっていて大変でしたが頑張りました。
計器飛行証明コースでは、もう少し勉強しましょうね…(^_^);
次回は、計器飛行証明コースのFinal Checkでお会いしましょう。

大澤教官

他の乗員養成課程の訓練生も次のとおり実地試験に合格していますのでご紹介させていただきます。

5月28日	松本氏	(日本航空学園)	事業用操縦士
6月26日	小林氏	(日本航空学園)	計器飛行証明試験
6月29日	上床氏	(HA乗員養成)	計器飛行証明試験
6月29日	加藤氏	(HA乗員養成)	事業用操縦士
7月2日	片桐氏	(日本航空学園)	計器飛行証明試験

大変だった訓練生時代を忘れずに心技ともすぐれたパイロットとなって大きく羽ばたいて下さい。

新入会員紹介

No.2098	佐原 武志 様	2009.06.01入会
No.2099	藤原 秀次郎 様	2009.06.10入会
No.2100	田村 茂様	2009.09.06入会

第37回本田宗一郎杯争奪飛行競技大会

実施日 平成21年10月25日(日) 08:30集合

予備日 平成21年11月1日(日)

競技内容	ノーマル LDG	×	1回
	スポット LDG	×	1回
	ノーフラップLDG	×	1回

合計3回の着陸点数と飛形点で順位を決定します。

参加費 教官同乗料金の30分の飛行料金

今回は先着20名まで1人5,000円をクラブから補助します。

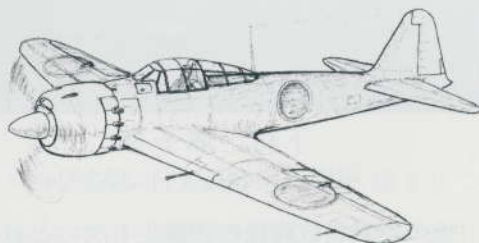
申し込み 9月25日から運航管理にて受付開始

アイベックスフライングクラブ、日本飛行連盟、日本女性航空協会も参加予定！
皆様奮ってご参加をお願いします。

※ 競技日の特別アトラクション(予定)



防災航空隊展示訓練



いよいよです。濱尾会長自作ゼロ戦地上滑走

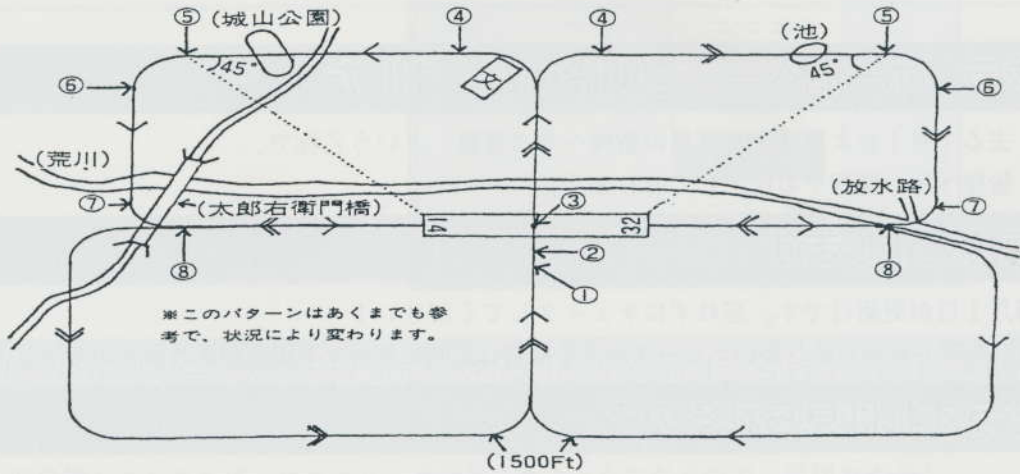


スカイダイビング展示降下

270° スポットランディング場周略図及び飛行方法

〈…RWY32の場合

〈…RWY14の場合



〈手順及び目安高度〉 Wind約5KTsを想定

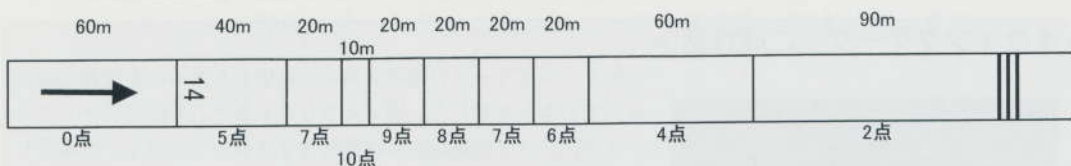
- | | | |
|-----------------|------------|-------------|
| ①着陸前点検 | ⑤約1000ft | } フラップ操作は適宜 |
| ②キャブヒート ホット | ⑥900Ft | |
| ③パワーアイドル 1500Ft | ⑦900~700Ft | |
| ④65ktsアプローチ | ⑧500Ft | |

〈注意事項〉

- (a) 滑空速度を守ること
- (b) 風の影響を考える
- (c) ファイナルターンで滑走路を見すぎて姿勢を不安定にしたり大きなバンクで無理な操作は行わない
- (d) 低すぎて到達できそうもない時、極端に高すぎた時は、ゴーアラウンドを判断するのをためらわない

*パワーはアイドルなので、アプローチは経路の調節とフラップを下げるタイミングで定点をねらう。風に対する判断が重要！

接地点見取図



ホンダフライングクラブ ホームページ開設のお知らせ

クラブホームページを開設いたしました

去る7月1日より「クラブ員の皆様へのご連絡」という名称で、皆様へ旬の情報をお伝えしております。

毎月更新します

毎月1日が更新日です。忘れずにチェックしてください！

(いち早くお知らせしたいニュースがある場合は臨時に更新する場合がありますので注意！)

どうすれば見られるの？

- ①まずは
本田航空のホームページ内、
フライングクラブご紹介ページへ



ページイメージ》

URLは <http://www.honda-air.com/people/club.html>

- ②フライングクラブご紹介ページ内、
中ほどにある
「ウイングマーク」をクリック

ここを
クリック！



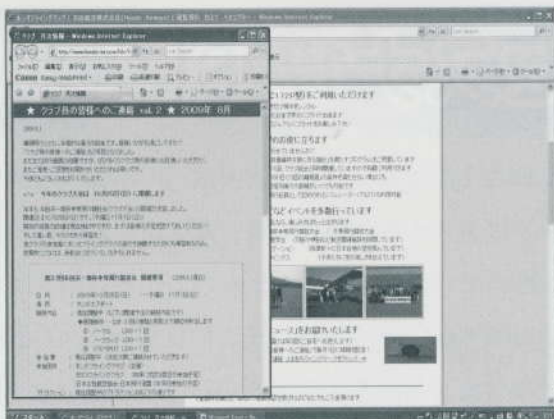
ページイメージ》

《ウイングマーク こぼれ話》



このウイングマークは濱尾会長からお借りしたものを写真に収めさせていただきました。聞くところによると、1964年にホンダフライングクラブが創設された際のクラブ員のみが持つ、由緒正しいものだとのこと。いわばホンダフライングクラブの歴史が詰まったウイングマークをアイコンとし、これからの情報発信の扉が開かれることを光栄に感じます。濱尾会長ありがとうございました。

③別ウインドで
「クラブ員の皆様へのご連絡」
ページが立ち上がります



ページイメージ》

「ブックマーク」または「お気に入り」に登録して下さい

空いた時間にいつでも・すぐに・見られるように、登録しておいてください。
一度登録してしまえば、ワンクリックで見られるようになるので、便利です！

皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております

まだまだ開設まもなく、試行錯誤の段階ですが、ぜひ多くのクラブ員の方に目にして頂き、
ご意見・ご感想をお聞かせ頂ければと思います。

記事や写真の投稿也大歓迎

「クラブ員の皆様へのご連絡」は皆で作るページです。
「皆に知らせたい！見てほしい！」写真や記事がありましたらクラブ事務局・理事まで
ぜひお聞かせ下さい。ウイングニュース共々、皆様からの情報をお待ちしております。

投稿・ご意見等はこちらまで

メールで》 club@honda-air.com (いずれも担当者は鳥居です)

お電話で》 049-299-1111 (代)

～お待ちしております～

～「クラブ員の皆様へのご連絡」今秋の更新予定～

《10月号予告》

…10月1日更新予定

・いよいよ間近に迫ったクラブ大会について、詳細を一挙大公開します

《11月号予告》

…11月1日更新予定

・クラブ大会の様様を写真を交え、ご紹介させていただきます

～お楽しみに～

セスナ172Sについて その2

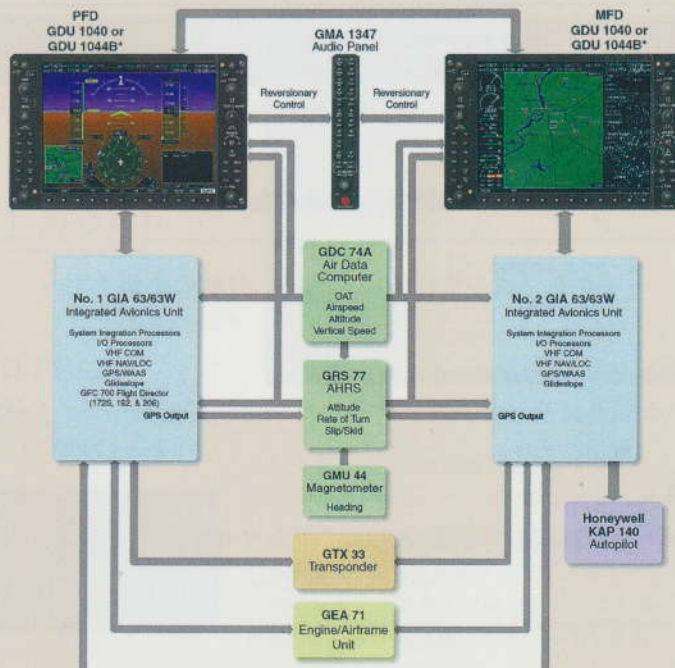
前回に続き今回はセスナ172Sの中でもGarmin社製G1000についてご案内致します。内容についてはシステムの概要についてご説明致します。実際の操作方法についてはとても限られた紙面ではお伝え出来ませんので、移行訓練時にじっくりお話致します。

さて、1989年にGary Burrell氏とMin Kao氏（Gary+Min=Garmin）によってGarmin社が設立されました。ちょうどその頃GPS衛星による民間への使用が始まり、Garmin社はGPS衛星を利用したシステムを開発し、瞬く間に世界中に社員8000人を超える企業へと成長を遂げました。

Garmin社は1992年GPS-100Gを発表。私達の身近な所ではGNS430 GNS540などを航空機に装備をしており、既にご使用になった方も多いのではないかと思います。また、シリーズを重ねるに従いその機能の充実を遂げG1000ではほとんど全ての計器類、アビオ類をその機能の中へ装備する事に成功しています。又、Garmin社は航空機に装備するGPS以外にも一般向けに、アウトドア用スポーツ用などのGPSを手掛けているのは意外な感じがします。

さて、そろそろG1000システムの本題に入りましょう。

実際のシステムですが下記の構成になっています。各コンポーネントについて以下に説明致します。



1. GDU1040B (PDF, MDF)

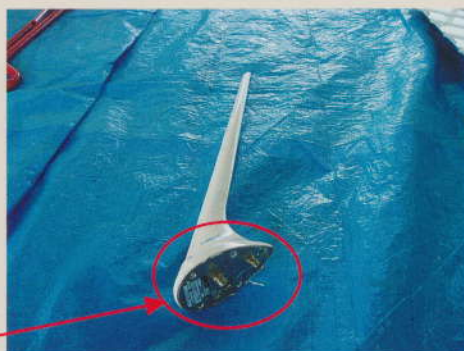
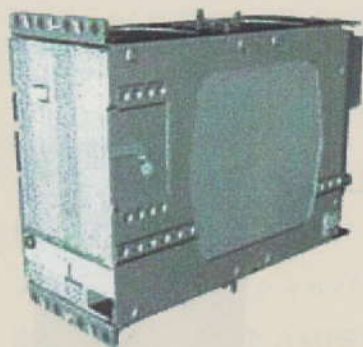
計器板上に在るメインの表示器でパイロット側とコパイロット側にそれぞれ装備されています。左側をPFD（プライマリー・フライト・ディスプレイ）、右側をMFD（マルチ・ファンクション・ディスプレイ）と呼んでいます。両方のGDU1040Bは飛行中G1000システムとリンク、高速データバスイーサネットと通信してG1000の全ての機能を表示しています。両方とも同じパーツナンバーの物を使用していますが表示する内容によりこのような名称で分けています。また、下図のとおり厚みがあまりありませんので計器板裏側にはスペースが確保でき、以下に説明するコンポーネントを搭載する場所として有効活用されています。ディスプレイはタッチパネルではありませんので直接表示部を触ると指紋が付き悪影響がありますので触らないようにお願いします。



2. GIA63/63W (Interated Avionics Unit)

通信のハブとして機能しています。P型のVHF COM, VHF NAV/LOC/GS GPSの機能が一つの中に統一されているようなイメージです。GIAはNo1とNo2の2機を装備していますがそれぞれは独立しておりそれぞれGDU1040Bとペアを組んで機能しています。No1側とNo2側はお互いが直接通信する事はありません。

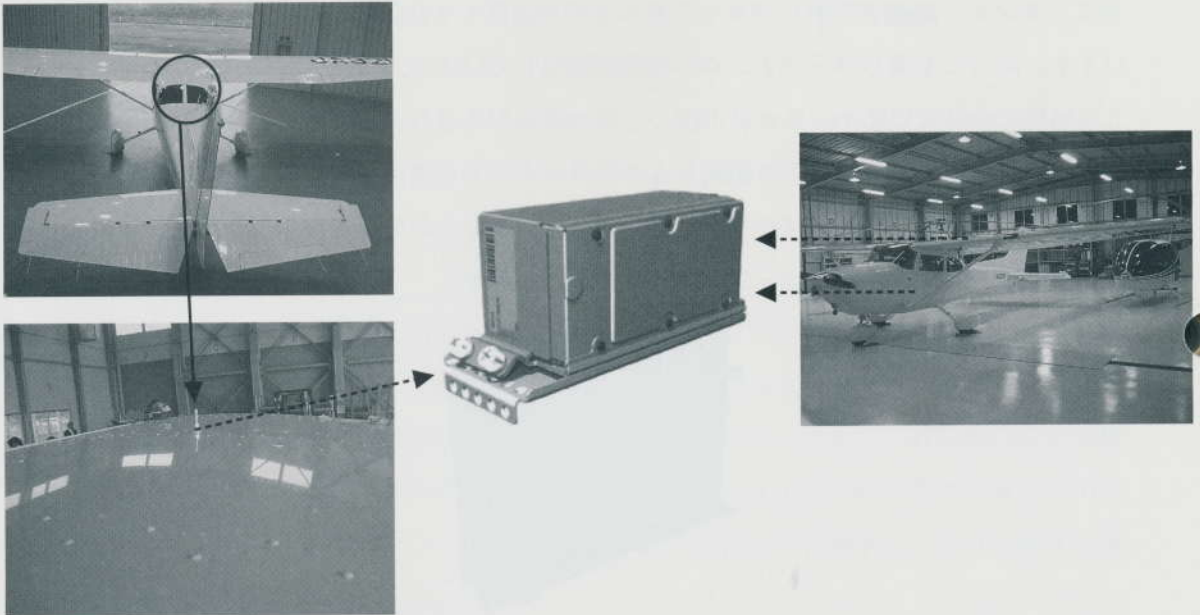
GPSのアンテナは、VHF COMのアンテナと共用なっていてアンテナ根元がGPSアンテナとなっています。



この根元部がGPSアンテナ先端部はVHF COMアンテナとなっている。
(底面にコネクタが2本装着できるのがわかります。)

3. GDC74A (Air Data Computer)

エアデータコンピューターと言われるもので、OATセンサー、ピトー/静圧システムからのデータを元にGIA63/63W、GDU1040B、GRS77と通信を行い圧力高度、対気速度、垂直速度、OAT（外気温度）の情報提供を行っています。

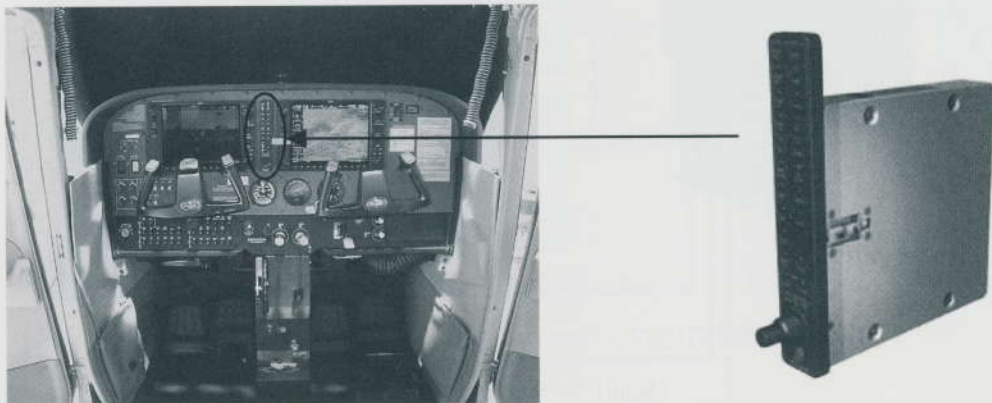


OAT（外気温度計）センサー（上図）は機体上部に取り付けてあります。

ピトー/静圧システムは今迄と同じ位置に付いています。（ピトー管は左翼、静圧口は左前方胴体側面）

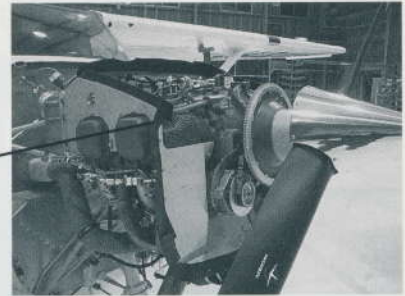
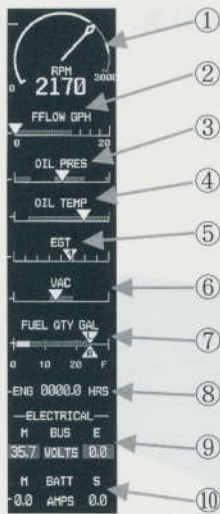
4. GMA1347 (Audio Panel)

これはPFDとMFDの間に装備されていてオーディオコントロールパネルになります。この中にはマーカビーコン受信機のほか、172Pには装備されていなかったインターカムシステムもこの中に装備されています。



5. GFA71 (Engine/AirframeUnit)

エンジン及び機体からのデーターを元にGIA63/63Wと通信を行いPDF, MDFに下記の表示を行う。



- ① エンジン回転数 (RPM) を示す。

緑弧線は通常運転、白弧線は通常運転を超えた場合、赤弧線はオーバースピードを示す。

- ② 燃料流量計 (Fuel Flow GPH)

1時間当たりの燃料消費量をガロンで示す。

- ③ エンジンへの供給圧力をPSIで示す。

- ④ エンジンオイル温度を華氏 (° F) で示す。

- ⑤ 排気ガス温度 (EGT) を示す。

EGTセンサーは4つのシリンダー全てに取り付けてありその中で最も高いシリンダーのEGTを示す。(写真はNo4シリンダーを示す)

- ⑥ スタンバイ真空ポンプ圧力を表示する。

- ⑦ 燃料計 (Fuel Qty GAL)

ゼロから満タンまで左 (L)、右 (R) でガロン表示をしている。

- ⑧ エンジンの運転時間を時間 (Hrs) で示す。

- ⑨ 電圧計 (M,E BUS VOLT)

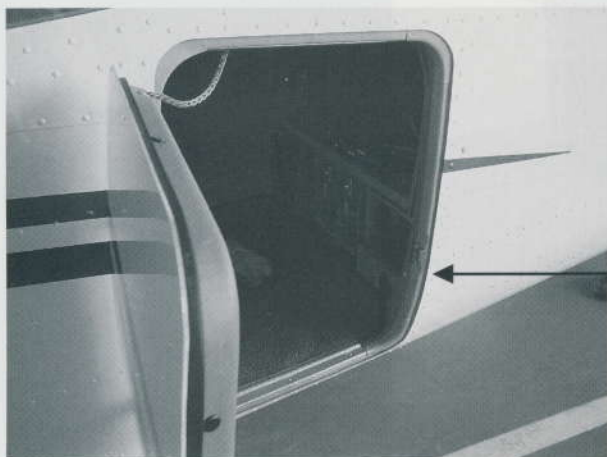
メイン及びエッセンシャルバスの電圧を表示する。

- ⑩ 電流計 (M,S BATT AMPS)

メインとスタンバイのバッテリー負荷をアンペアで表示する。

6. GRS77 (AHRS :Attitude Heading Reference System)

GRS77は最新のセンサーにより加速度及びレートセンサーが組み込まれています。GRS77は地磁気情報を収集するGMU44、エアデーターを収集するGDC74AとGPS情報を収集するGAI63/63Wと通信を行っています。つまり今までの水平儀、定針儀、旋回計が一緒になり加えてエアデーター、GPSの情報も入っている事になります。



後部胴体に装備されている。

7. GMU44 (Magnetometer)

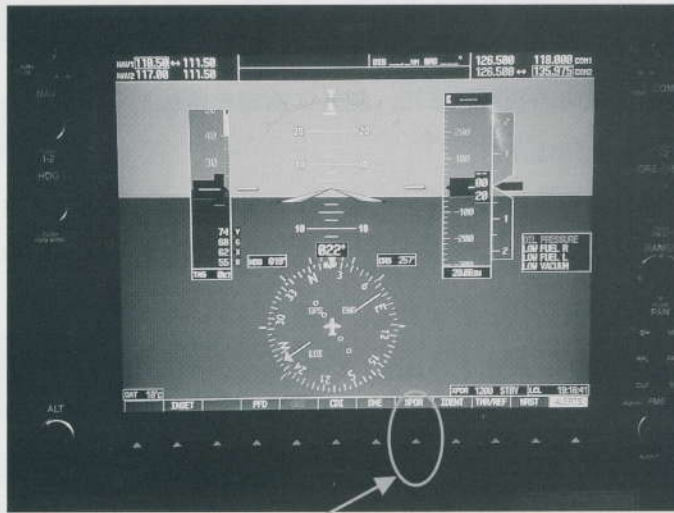
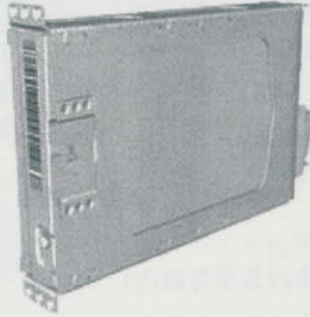
上記GRS77から電源を供給され地磁気を感知してまたGRS77に情報を通信している。これが装備された事によりC172Pで行っていた10分～15分に一度マグコンから方位を読み取りDG (定針儀) にセットする手順が無くなり、DGは常に磁方位を示す事になります。



これは、機体磁気の影響が少ない左WING TIPに装備されています。

8. GTX33 (Transponder)

172Pでもおなじみのトランスポンダーです、172PではモードA及びCモードでしたが172SではモードSが装備されています。



トランスポンダーのスクォークのセットは画面上のXPDRの下の△マークのスイッチを押すと画面が変わり、次に出てくる数字を△マークのスイッチを使用して希望する数字を押す事になります。

これらいろいろな装備品は、今迄172Pなど私達は見える位置に取けられており、直接見たり各装備品に付いているスイッチやつまみを直接触り操作をしてきましたが、G1000システムはこれらの装備品は後部胴体や計器板裏側等に装備され直接操作する事はありません。計器板に装備されているPDFやMDF やオーディオコントロールパネルによって操作される事になり、同じスイッチであっても画面の表示によっては違う機能进行操作する事になる為、今までにない操作手順となります。よって移行訓練時は事前に地上でじっくり練習を重ねたうえで実機の訓練に入る計画をしています。移行訓練シラバスが完成次第、皆様に訓練時間・費用についてご案内致しますのでしばらくお待ちください。

USE CAUTION

操縦練習許可書期限が迫っています（敬称略）

12月末までに切れる方	1月末までに切れる方
5410 山元 一世 H21.10.6	5306 小松崎洋一 H22.1.8
5685 藤田 晃彦 H21.12.25	5804 宮嶋 洋一 H22.1.26
	5799 関根 浩孝 H22.1.28

●申請に必要なもの

住民票（本籍地記載のもの、発行3ヶ月以内）……………1通

練習許可申請書（身体検査を受診する病院でお受取り下さい）……………1通

②申請書の住所及び本籍は、住民票にある通り、丁目、番地等を略さず書いて下さい。氏名の後部に朱肉印捺印、また、欄外に捨印を押して下さい。シャチハタ印、又はこれに類似した印は不可。

③身体検査は、操縦練習許可書の有効期限の1カ月前以降に受けて下さい。申請書の有効期限は1カ月です。手続きに時間がかかる場合がありますので受診したらずくに、遅くとも有効期限の10日前までに、申請をお願いします。

写真（インスタントは不可）たて3cm×よこ2.5cm……………2枚

④写真の裏側にかならず記名して下さい。

申請諸費用……………3,200円

●身体検査の受診場所（事前連絡が必要です）

宮入内科（有楽町交通会館）……………03-3211-4845

中溝クリニック（港区芝浦東芝ビル4F）……………03-3452-4468

はごろも内科・小児科（立川市羽衣町1-16-9）……………042-522-5234

東海大学医学部附属東京病院（渋谷区代々木1-2-5）……………03-3370-2321

阿部メディカルクリニック（足立区千住河原町21番10号）……………03-5813-5511

永田町つばさクリニック（千代田区平河町2-6-4）……………03-3511-2839

東京国際空港診療所（大田区羽田空港3-3-2）……………03-5757-1122

・個人で申請されている方は、各種申請に必要ですから許可書の番号を本田航空運航管理049-299-1105までお知らせ下さい。

クラブ員の皆様へ



- クラブ行事の中で一番エキサイティングな競技大会の時期となりました。担当理事も楽しいアイデア一杯で皆さんに喜んでいただけるよう頑張っています。大勢の皆様の参加をお待ちしています。
- ご案内のとおり、クラブのホームページからいろいろな情報の発信をしています。毎月1回更新していますので確認をお願いします。
- 残念ながら最近騒音苦情が頻発しています。そのためパターンの経路も一部変更しています。フライトの前には騒音苦情地域等運航管理で必ず確認してから飛行するようお願いします。

ウィングニュース 216号

発行者/ホンダフライングクラブ事務局

〒350-0141

埼玉県比企郡川島町大字出丸下郷53-1

本田航空株式会社内

Tel 049-299-1111(代表)

夢は空でカタチになる。

さあ、空へ——。
雲に近づき、風を感じる。
コクピットの向こうに広がる無限の世界。
そこには夢を実現させるチカラが存在する。
あなたの夢は何ですか。
今まで抱いてきた熱い思いを、聞かせてください。
ハート、セーフティ、スピード、快適さ、そして技術。
私たち本田航空が一翼となりあなたを強力にバックアップします。



ホンダエアポートは…

- ・都心より約40km
- ・訓練空域内にある夜間照明施設付きの自社飛行場
- ・豊富な訓練機 (C172、BE58)
- ・充実した地上施設 (アドバイザリー局、衛星通信による気象及び航空情報、運航管理システム) FTD (飛行訓練装置※ログオンできます)
- ・十分なスペースのブリーフィングルームとクラブルーム
- ・経験豊富な教官が親切に対応します

* 自家用、事業用操縦士・計器飛行証明を取得してみませんか?
訓練開始時期、訓練期間、お気軽にお問い合わせください。
詳細は下記ホームページに記載されていますので、ぜひご覧下さい。

本田航空 〒350-0141 埼玉県比企郡川島町出丸下郷53-1
HP <http://www.honda-air.com/index-b.html>